

2017-B

VI70B

拠出金・基金
の名称

北太平洋海洋科学機関拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】北太平洋海洋科学機関(PICES)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ/水産庁増殖推進部研究指導課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

- (1) IUU対策を念頭に地域の实情に沿った資源管理, 漁業管理, 操業ルールの設定等の管理方策を構築。
- (2) 持続的な漁業生産を実現するための水質の管理・浄化, へい死対策などの日本の高度な生産管理技術の教授。
- (3) 上記(1), (2)を管理・運営するための人材育成や, 情報収集, データベース化, マニュアルを作成。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千加ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	8,000	96	-	1加ドル=83円	100
平成28年度	6,498	67	-	1加ドル=97円	100
平成27年度	7,445	75	-	1加ドル=99円	100

【当該任意拠出金等の意義, 成果等に関する我が国としての評価】

環太平洋圏の開発途上国沿岸は生物多様性が高く, 水生生物の再生産の場であり, 我が国が公海等で漁獲する漁業資源にとっても重要な産卵・育成場である。しかし近年, 気候変動に伴う赤潮発生頻度や種類の変化, 食植性生物の増加による藻場の縮小, 珊瑚の白化などが発生し, 海洋環境を著しく悪化させ, 漁業生産に深刻な影響をもたらしている。また, こうした漁業生産の不安定化は, 違法・無報告・無規制(IUU)漁業が蔓延する状態を招く原因となっており, 世界的な問題となっている。

そこで, PICESから, 我が国を主体とする各国の専門家を途上国に派遣し, IUU漁業の撲滅に係る漁業管理技術や海洋環境の計測技術を教授するとともに, 漁業者自らが水質等の環境データを測定できるアプリケーション等を開発した。当該拠出金事業は, 我が国にとって重要な途上国沿岸における漁場の持続性・生産安定性の確保及び生物多様性の保全の実現に大きく貢献した。

【備考】